

事業所名 色えんぴつ・鈴鹿

作成日 : 平成26年10月30日

評価結果

市町提出日 : 平成26年11月4日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	H26.3に新しい利用者が2名入られ、その方たちが家へ帰ろうと出て行かれる行為があり、職員の手薄な時間帯があることや、施設前の道路は大型トラックの通行量も多く、安全を優先し、玄関の施錠を行っている。現在も帰宅願望は続いている。	新しい利用者様が落ち着いて生活できる場所にしていくと共に、外へ出て行かれた場合でも諸君が付き添える体制を作っていく。	①庭への出入りがしやすいようにし、外への出入り口と認識してもらう。 ②玄関の出入りが目立たないよう工夫をする。(パーティション設置) ③職員の体制作りと意識付けを強化する。	6 か月
2	11	グループホーム本来の目的から逸脱している場面が多く見られ、全体的に利用者様の自己決定や自立を促す支援に掛けている。	業務優先ではない、利用者一人ひとりに自己決定が出来るような声かけや、手を出しすぎず、自立を促せる支援の仕方が出来る職員を増やしていく。	①グループホーム本来の目的を周知できるよう、研修、勉強会の機会を作っていく。 ②不適切と思われることは、その都度意見交換を繰り返し改善していく。	12 か月
3	10	家族様からの意見を貰うよう面会ノートを設けているが、意見等の記入がなく、要望も聞くことが少ない。	家族様からは勿論であるが、利用者様からの意見、要望等を反映できるような取り組みを目指していく。	①意見、要望が言いやすい雰囲気を作ると共に、利用者様の要望を気づき、すいあげれるようなシステム(書式)を検討する。	12 か月
4					か月